

## 俳句

抱く子の遠くに在りて春深し  
中野 千賀子

藤棚の丸きテールブルーハーブティ  
綿引 英子

新緑や赤子を抱きつ子守うた  
今瀬 多代美

困惑の顔が父似や冴えかへる  
飯田 勇一

桃活けて桃のかをりに包まれし  
瀬谷 博子

母の日や記事一面の百合の花  
竹内 幸子

## 文芸しるさと

### 短歌

庭先の梅の枝々ゆれゆれれて  
西風強き如月の夕ゆう  
所 美恵子

新しきランドセルに希望と少し  
だけ不安もつめて孫の入学  
渡辺 千紗子

「くじけないで」詩集を彼女より  
頂きぬ心強くして楽しく生きむ  
山形 式妙

嫁のつくる料理はすこぶる美味  
なれば手を加えずに感謝で頂く  
杉山 みちこ

### 川柳



梵鐘が重く澁みし夕薄暑  
田口 勝元

起こし田に用水入り生き生きと  
羽石 雅春

やる事のまだある余生日脚伸ぶ  
寺門 孝子

### 川柳



母の日のお礼に手作り愛マスク  
富田 多蔵

光させど何処まで続くコロナトンネル  
車田 綾子

「ボサ」ガリで泣いてがんばる草刈機  
飯村 孝一

風に揺るるふきを摘み来て調理  
するふき味噌を食むほろ苦き味  
大森 久子

老いたるはこの様なものと思ひ  
つつ炬燵に入りて一日暮れたり  
佐川 あや

見渡せば我が家とりまく庭畑  
にこごみひらきて夏は近づく  
島 愛子

花水木春風に誘われ薄化粧  
胸ほんのりと我も若やく  
信田 育子

鶯の澄む声ひびくダム湖畔コ  
ロナ禍の日々に胸に沁み入る  
富田 佐智子

屑鉄として積まれ行く製茶機  
械昼夜稼働の頃もありしに  
萩谷 登喜子



新コロナ医療現場に子がい  
れば不安大きく終息念ず  
菌部 光子

目の前の山は今年も芽吹き  
して姿変りて心喜ぶ  
富田 欽子

夢の窓孫の顔には月がさす  
ねんねん息の見聞く楽しみ  
矢次 洋平

## しろさとまち通信 地域おこし 通信

—城里町地域おこし協力隊— Vol.50

城里町地域おこし協力隊の連載、6月号は染矢喜夫が担当します！



▲圃場の整備をしている様子

こんにちは。農業政策課地域おこし協力隊の染矢です。早いもので地域おこし協力隊としての活動も5月で3年目を迎え、最後の年となりました。地域の農業者からご指導をいただきながら、なしやぶどう等の栽培について研修を行っています。冬の重要な作業である剪定も終わり、今は防災柵の設置や整備の仕方を学んでいます。防災柵には、成長した果樹の重さを支え、風やひょう、虫害から守る役割があります。柱一本を建てるにもアンカー打ち込み、土台の設置、柵線の均衡がとれる角度の調整など、いくつもの工程があり、貴重な体験をさせていただきました。また、資材の腐蝕や果樹の重量等で歪んだ柵の調整の仕方でも学ぶことができました。これから収穫に向けて、枝づくり、芽かき、摘果、花切りなど、日々の生育管理が重要になってきます。果物の種類によって花の咲く時期や成長のスปีドが異なるため、同時進行でさまざまな手入れをしなければなりません。そのため、常に園内にも目を配り、小さな変化にも注意することを心掛けています。美味しい果実を実らせるためには、長い時間と手間をかけることが大切です。

私のような未経験者に果樹栽培のノウハウを教えてください。ださった農家の方々への感謝の心を忘れずに、残り少ない研修期間、1日1日を無駄にせず、頑張っていきます。

問合せ 農業政策課  
☎029-288-3111 (内線253)